

# 2012年3月期 決算説明会

2012年5月15日

日本無線株式会社

代表取締役社長 土田 隆平

## 1. 2011年度通期業績

- (1) 2011年度 通期業績
- (2) セグメント別 売上高
- (3) セグメント別 営業利益
- (4) 売上高分析
- (5) 営業利益分析

## 2. 業績改善に向けて

- (1) 方針
- (2) 事業構造改革の方向性

## 3. 2012年度業績見通し

- (1) 2012年度 業績見通し
- (2) セグメント別 売上高見通し
- (3) セグメント別 営業利益見通し

## 4. 各事業セグメントの状況

- (1) 海上機器事業
- (2) 通信機器事業
- (3) ソリューション・特機事業

## 5. トピックス(新規事業関連)

- (1) 展示会
- (2) 新宿防災訓練

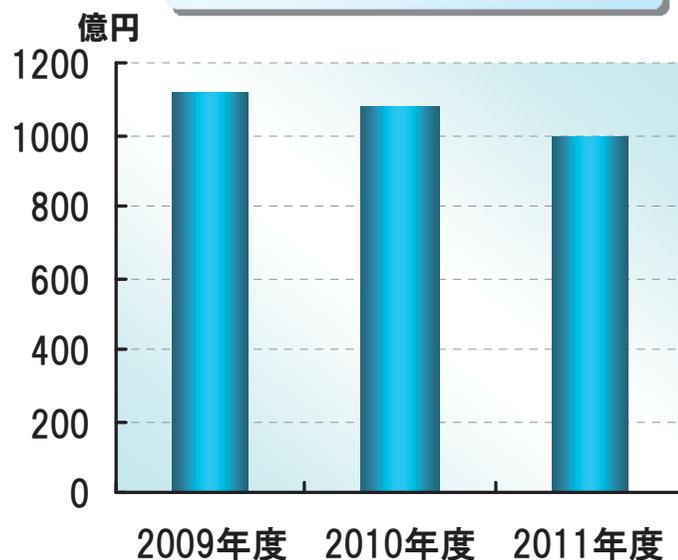
# 1. 2011年度 通期業績

# 1.(1) 2011年度 通期業績

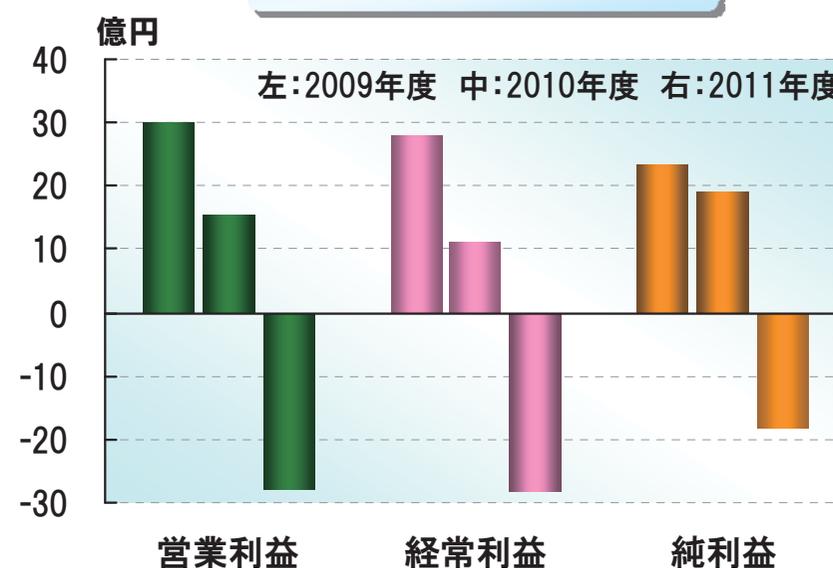
(単位：億円)

(連結業績)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 期初計画	2011年度 通期 実績	前期比	計画比
売上高	1,112	1,077	1,128	999	△ 78	△ 129
営業利益	30	16	30	△ 28	△ 43	△ 58
経常利益	28	11	29	△ 28	△ 40	△ 57
純利益	23	19	26	△ 18	△ 38	△ 44

通期 売上高の推移



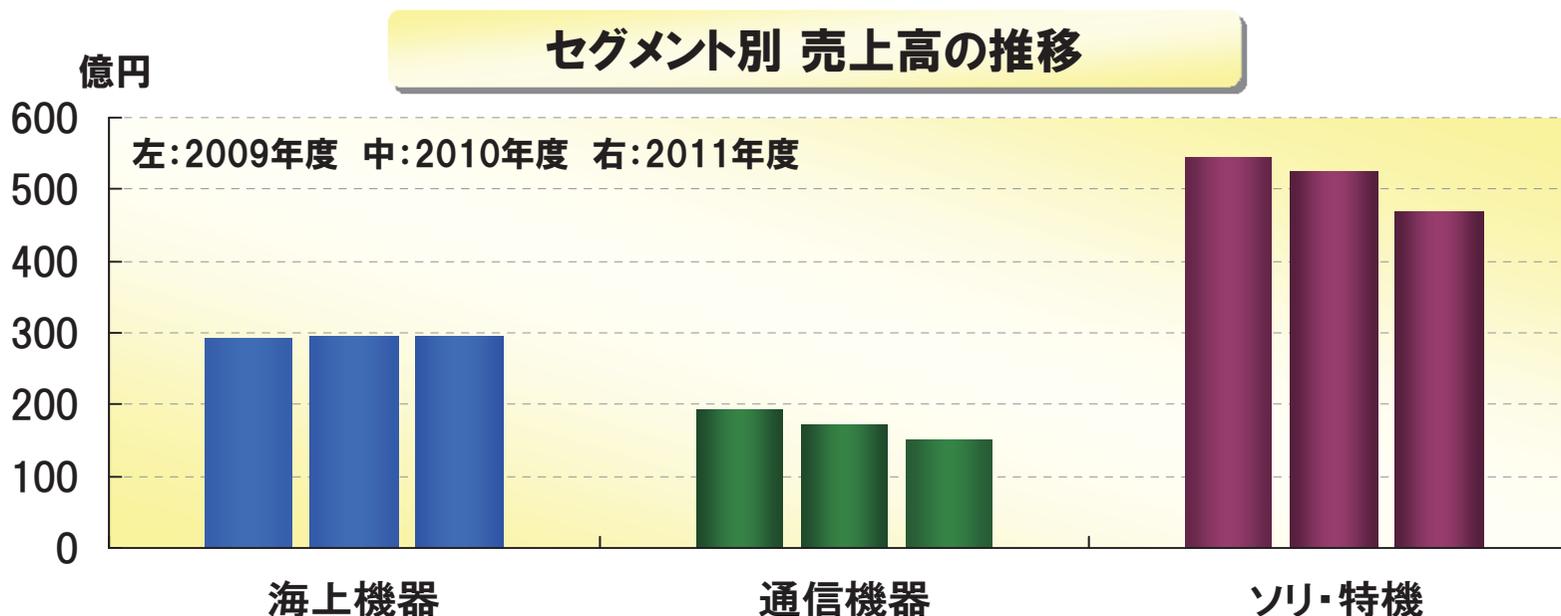
通期 利益の推移



# 1.(2) 2011年度 セグメント別 売上高

(単位：億円)

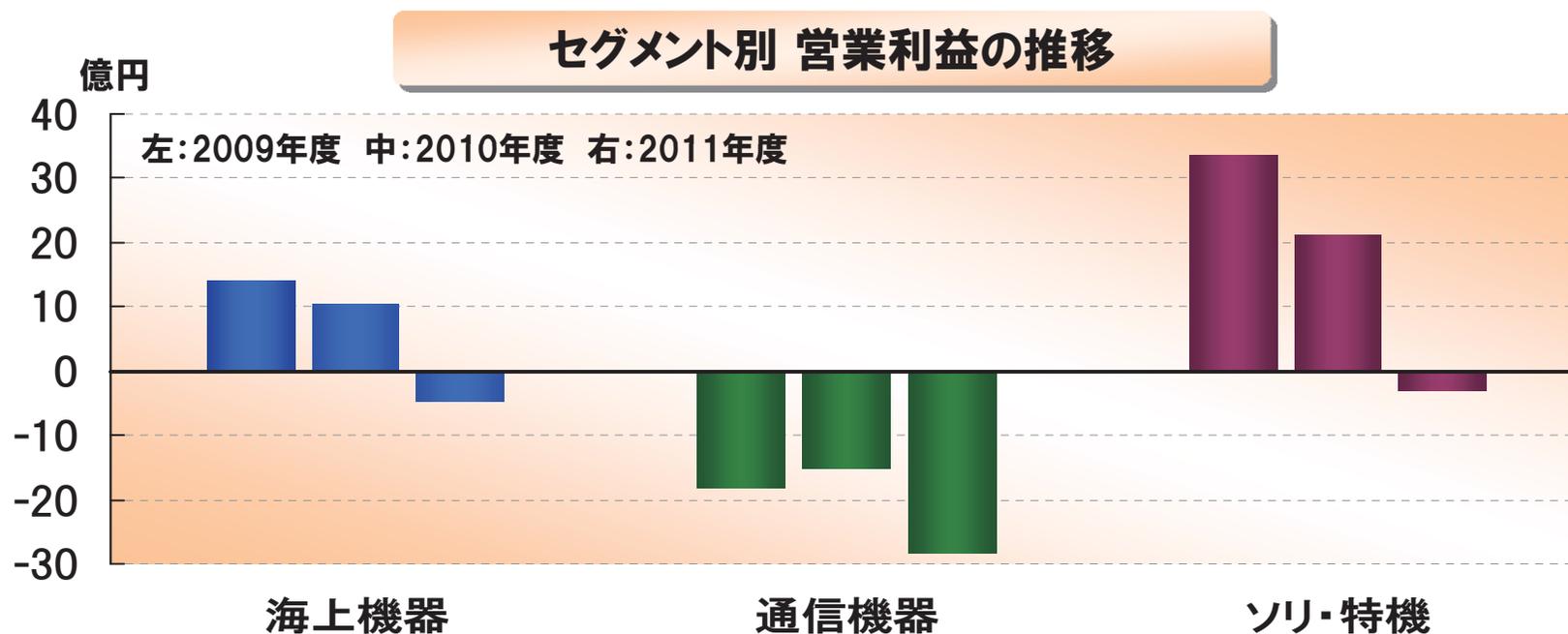
(連結売上高)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 期初計画	2011年度 通期 実績	前期比	計画比
海上機器	293	296	310	295	△ 1	△ 15
通信機器	193	173	197	150	△ 23	△ 47
ソリューション・特機	545	525	541	469	△ 56	△ 72
その他	81	83	80	85	2	5
合 計	1,112	1,077	1,128	999	△ 78	△ 129



# 1.(3) 2011年度 セグメント別 営業利益

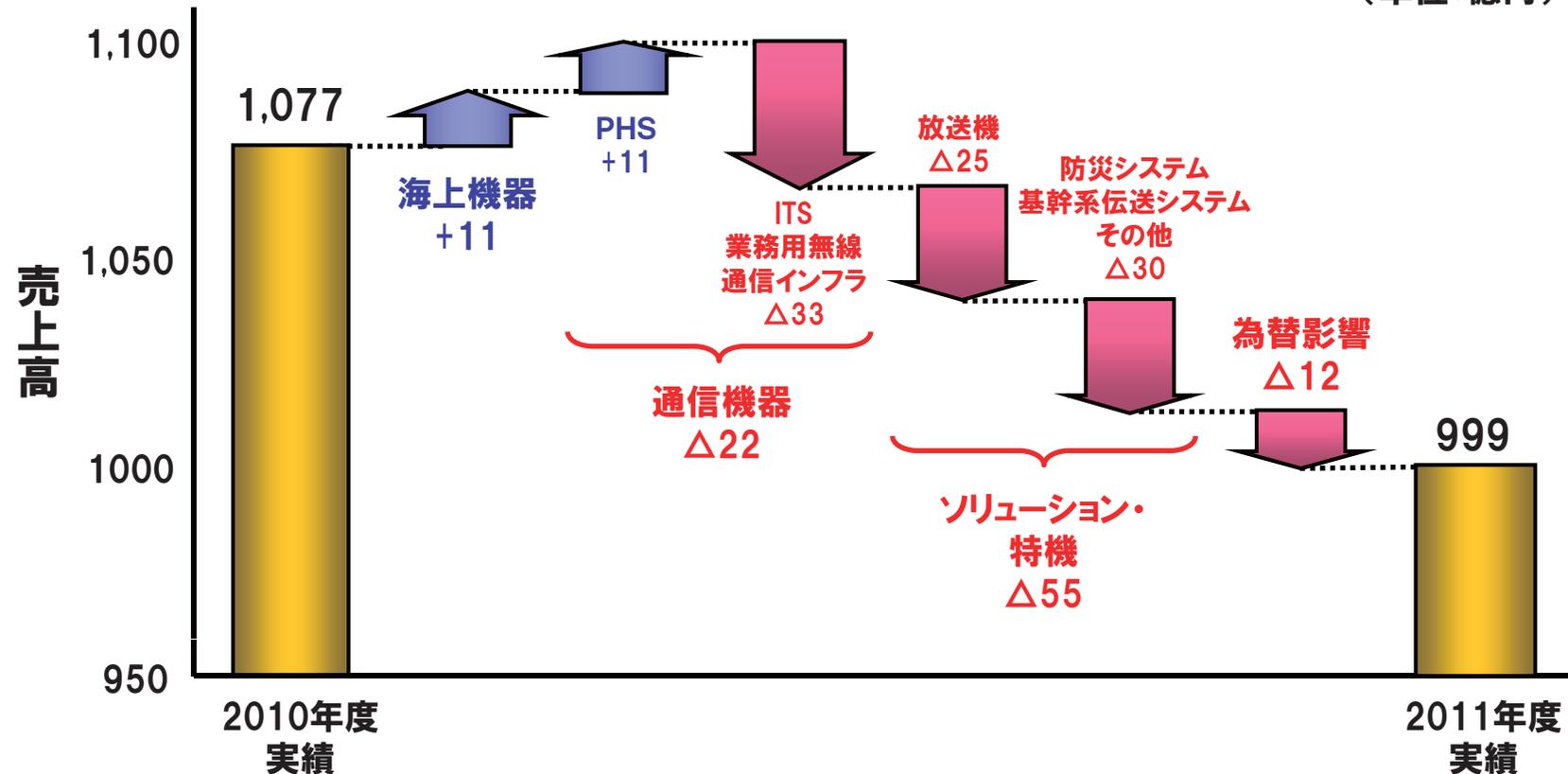
(単位：億円)

(連結営業利益)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 期初計画	2011年度 通期 実績	前期比	計画比
海上機器	14	10	11	△ 5	△ 15	△ 16
通信機器	△ 18	△ 15	△ 18	△ 28	△ 13	△ 10
ソリューション・特機	33	21	34	△ 3	△ 24	△ 37
その他	0	△ 1	3	8	9	5
合計	30	16	30	△ 28	△ 43	△ 58



# 1.(4) 売上高分析 (2010年度実績比較)

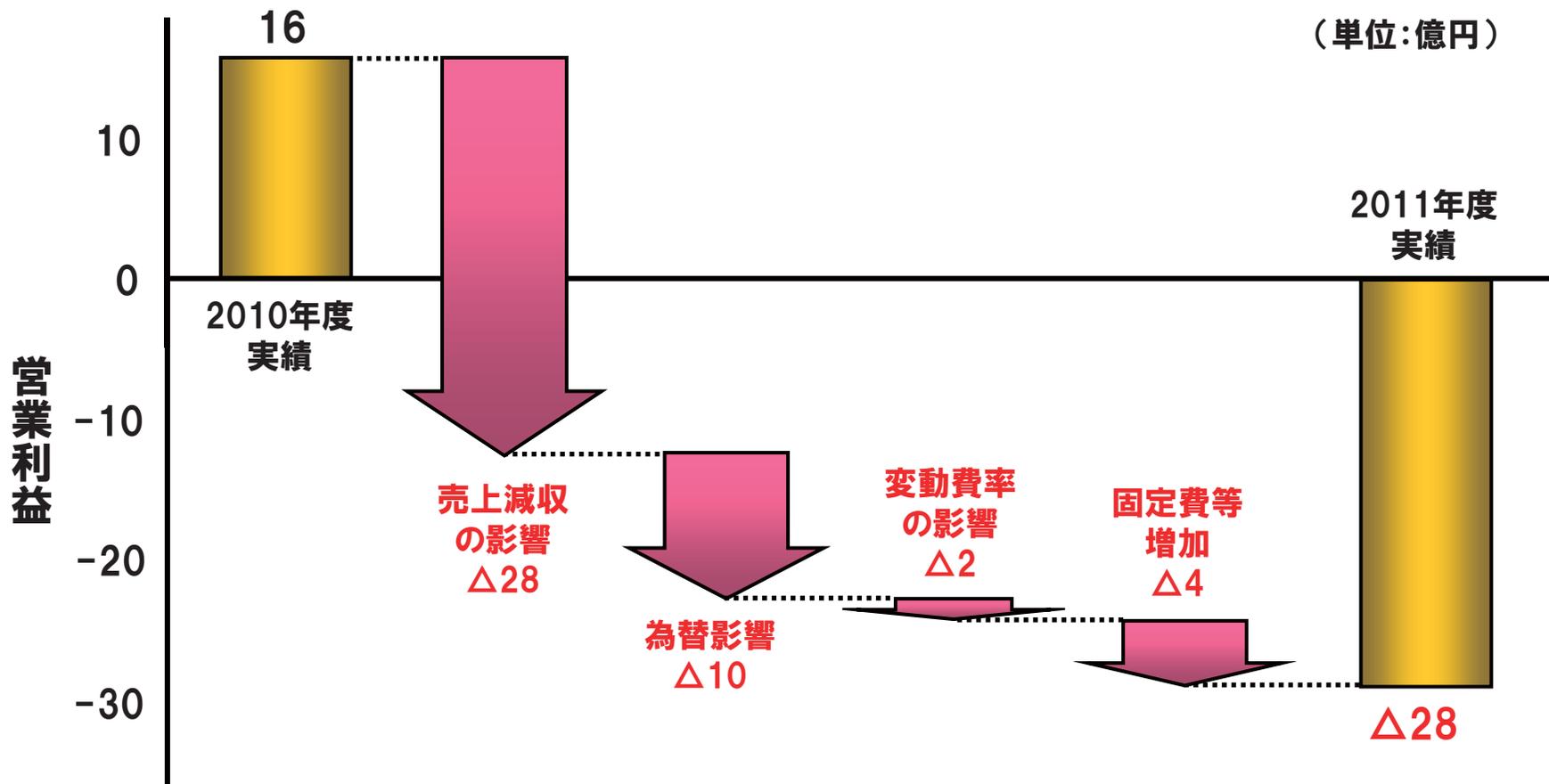
(単位:億円)



- ・ 海上機器：為替影響を除き、商船向けの新造船機器と換装機器が増加
- ・ 通信機器：PHSが増加するも、自動車減産の影響からITS機器(GPS、VICIS等)が減少、また、海外(北米・欧州)案件の低迷により業務用無線機が減少、通信インフラ機器は欧州向け3Gアンプの出荷終了により減少
- ・ ソリューション・特機：地上波デジタル特需の終焉により放送機が減少、また、その他防災システム等も災害影響による公共事業の見直しや発注時期のずれ込みで減少

※ 事業別の増減額は、為替影響を除いた値である。

# 1.(5) 営業利益分析（2010年度実績比較）



通信機器事業とソリューション・特機事業の売上減少、円高進行による為替影響、更には、補償費等の固定費増加により、営業損益は前期比で約43億円の減益となった。

## 2. 業績改善に向けて

### 経営方針

**売上高の減少に歯止めをかけ、収益力のある企業体質とすべく、事業構造改革を強力に推進する。**

### 改革方針

- ① **売上回復を目指す成長戦略の遂行**
- ② **グローバル競争に勝てるコストの実現**
- ③ **機構改革と固定費の削減**

### ① 売上回復を目指す成長戦略の遂行

- スマート化とグローバル化を軸に事業を再構築する
  - ・ 民需事業と海外事業の拡大  
(官公需事業と併せ、バランスのとれた事業構造へ転換)

### ② グローバル競争に勝てるコストの実現

- グローバル・マーケットで競争力のある商品開発
- 生産改革の実行
  - ・ JRCグループ全体で生産体制を再構築する
  - ・ 事業のグローバル化を推進する海外生産の実行

### ③ 機構改革と固定費の削減

- 機構改革による責任の明確化と経営のスピードアップ
- 生産性向上策の実施

## **3. 2012年度 業績見通し**

# 3.(1) 2012年度 業績見通し

(単位：億円)

(連結業績)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 実績	2012年度 通期 見通し	前期比 増減
売上高	1,112	1,077	999	1,100	101 (+10%)
営業利益	30	16	△ 28	10	38
経常利益	28	11	△ 28	12	40
純利益	23	19	△ 18	7	25

通期 売上高の推移



通期 利益の推移

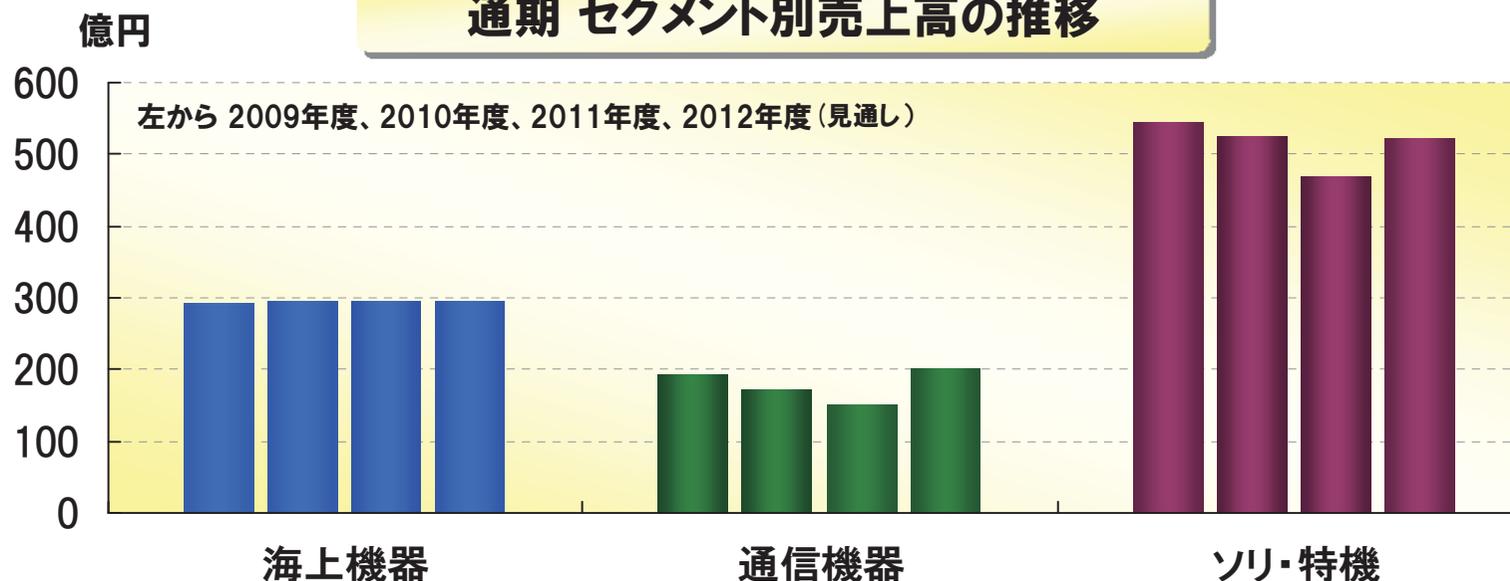


### 3.(2) 2012年度 セグメント別売上高見通し

(単位：億円)

(連結売上高)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 実績	2012年度 通期 見通し	前期比 増減
海上機器	293	296	295	296	1
通信機器	193	173	150	202	52 (+34%)
ソリューション・特機	545	525	469	521	52 (+11%)
その他	81	83	85	81	△ 4
合計	1,112	1,077	999	1,100	101 (+10%)

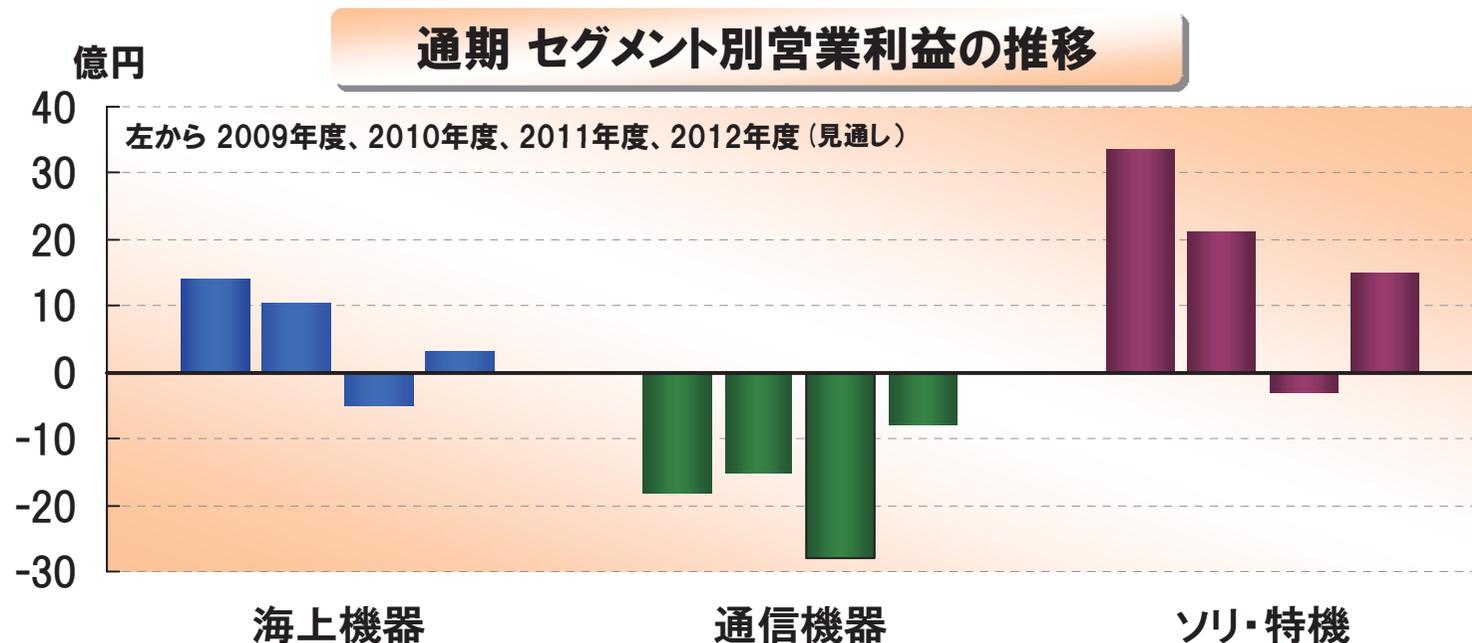
通期 セグメント別売上高の推移



### 3.(3) 2012年度 セグメント別営業利益見通し **JRC** 日本無線

(単位：億円)

(連結営業利益)	2009年度 通期 実績	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 実績	2012年度 通期 見通し	前期比 増減
海上機器	14	10	△ 5	3	8
通信機器	△ 18	△ 15	△ 28	△ 8	20
ソリューション・特機	33	21	△ 3	15	18
その他	0	△ 1	8	0	△ 8
合 計	30	16	△ 28	10	38



## 4. 各事業セグメントの状況

# 4.(1) 海上機器事業 - 概況 -

## 事業環境

### ■商船新造船

船腹過剰で各国造船所は受注環境が悪化  
手持工事量が減少

### ■商船換装

海運会社は運賃下落で採算悪化  
経費節減、新規投資抑制  
搭載義務化機器が存在

### ■ワークポート(中小型船)

欧州は低調も東南アジアの需要は増加傾向

## 2012年度の事業展開

### ●換装市場の売上拡大(特需の取り込み)

**対象製品** インマルサットFBB  
電子海図情報表示装置(ECDIS)  
船橋航海当直警報装置(BNWAS) 他

### ●ワークポート(中小型船)市場のシェア拡大

**重点地域** 東南アジア地域の販売強化

### ●コスト改革の推進

**ターゲット** 今期の生産変動費削減10%以上  
(目標:2014年度までに30%削減)



## 2012年度 見通し

- 売上高 296億円 (前期比+1億円)
- 営業利益 3億円 (前期比+8億円)

## 中期的な取り組み

- ◆ 中国市場・東南アジア市場のシェアアップ
- ◆ 換装・ワークポート市場のシェア拡大
- ◆ 海上ソリューション事業の強化
- ◆ 価格競争に耐えうるコストの実現

# 4.(1) 海上機器事業 - 取り組み事例 - JRC 日本無線

## 換装市場売上拡大

ECDIS拡販のための特別研修  
メーカーによる研修が必須

- 専用研修ルーム新設
  - ・4月より毎月定期開催
- 顧客研修
  - ・今年度、トータルで1000名以上を計画



日本海事協会より認証を受けた  
「Type Specific ECDIS Training」の証書と専用ルーム

海外代理店、船社へのトレーナー研修も実施  
他機器とのセット販売で売上拡大を図る

## 東南アジア市場向け商品展開

昨年度末に投入した小型表示器を皮切りに  
東南アジア向けの機器を投入予定

小型表示機

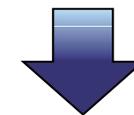


— 船位・水深 —

小型レーダ



(写真はイメージ)



シンガポールを拠点として、  
インドネシアで現地密着型営業を展開

# 4.(2) 通信機器事業 - 概況 -

## 事業環境

### ■ITS関連

災害影響なくなり、カーナビ関連需要が増加  
ITSスポットサービスの開始

### ■通信インフラ

携帯電話のデータトラフィック逼迫状態の継続  
LTEと700/900MHz再編関連市場の拡大

### ■通信モジュール

スマート化を背景にM2M需要が増加

### ■業務用無線

デジタル化の進展



## 中期的な取り組み

- ◆重点3分野(ITS、通信インフラ、業務用無線)の事業拡大
- ◆成長2分野(通信モジュール、一般向けGPS)の事業育成

対象分野における  
新規市場の創出

## 2012年度の事業展開

### ●車載機器の販売強化

**重点方策** 新型GPS受信機をカーナビ市場へ  
DSRC車載機の顧客拡大

### ●不感地・データトラフィック対策機器の量産

**対象製品** 隧道対策デジタル光伝送装置  
データオフロード用機器

### ●通信モジュールの受注拡大

**戦略** サポート力を活かし高付加価値市場へ

### ●業務用無線機は成長市場に注力

**注力市場** 鉄道無線、北米OEM

## 2012年度 見通し

- 売上高 202億円 (前期比+52億円)
- 営業利益 △8億円 (前期比+20億円)

# 4.(2) 通信機器事業 – 取り組み事例 –

## JRCの強みでカバレッジソリューション事業※を拡大

※ 都市部のビル内、地下街、地下鉄の駅および隧道内など電波が届きにくい場所や屋外でのエリア拡大、通話品質向上に寄与するシステムの総称

### ①【JRCの得意分野に集中】

携帯事業者向け光伝送装置と無線レピータで国内売上拡大

### ②【グローバル展開】

第4世代携帯電話の展開に向け商品力でグローバル展開

単位:百万円

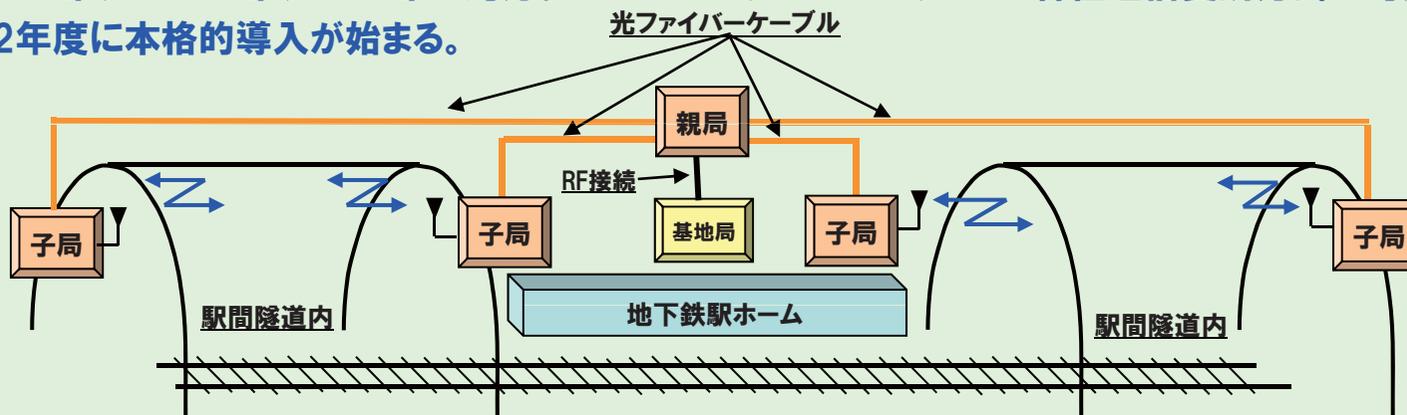
カバレッジソリューション売上見込み



## 地下鉄隧道対策光伝送装置の販売本格化

### 3帯域4事業者共用 隧道対策光伝送装置 (親局と子局で構成)

- ◆ 地下鉄列車内での携帯端末を使用したメールやインターネットの通信品質が向上。
- ◆ 800MHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯に対応。cdma2000、W-CDMA、LTEの各種通信変調方式に対応
- ◆ 2012年度に本格的導入が始まる。



# 4.(3) ソリューション・特機事業 - 概況 - 日本無線

## 事業環境

### ■防災システム分野

震災復興事業、全国防災事業の活発化  
県・市町村防災、消防防災の更新が集中

### ■環境・エネルギー分野

クラウド化の高まりによるデータセンター需要の  
増加と省電力化の要請

### ■海外事業

東南アジアにおけるインフラ整備の進展



## 2012年度の事業展開

### ●防災情報システムの受注獲得

**対象システム** 県防災システム・市町村防災システム  
デジタル消防システム

### ●環境・エネルギー事業の推進

**対象システム** 高電圧直流給電システム(HVDC)

### ●東南アジアにおけるSE機能強化

**地域・目的** フィリピン、インドネシア、ベトナム  
⇒ 船舶航行・海上監視システム(VTMS)の拡販

## 2012年度 見通し

- 売上高 521億円 (前期比+52億円)
- 営業利益 15億円 (前期比+18億円)

## 中期的な取り組み

- ◆ 民需における新規事業の推進  
(省電力ソリューション 他)
- ◆ 官公庁・未開拓分野への進出

- ◆ 海外ソリューション事業の拡大  
(VTMS、気象レーダ、衛星通信機器 他)

# 4.(3) ソリューション・特機事業 - 取り組み事例 - 日本無線

## 【重点事業】 防災情報システム

2012年度～2014年度 下記事業が活性化

消防無線デジタル化  
市町村防災無線デジタル化  
県防災システムの更新

3年間の受注目標  
400億円以上

- ① 受注対応の専任体制を構築（県防災チーム、市町村防災チーム、消防無線チーム）
- ② 重点顧客・地域へのリソース再配置
- ③ 「総合評価方式」等、提案型入札への対応強化

### 防災情報システム

- ◆ 統合防災情報システム
- ◆ 都道府県・市町村防災行政無線システム
- ◆ 土砂災害監視システム
- ◆ 地震情報システム
- ◆ 消防指令通信システム
- ◆ 津波・高潮防災システム
- ◆ CCTV映像監視システム



## 5. トピックス（新規事業関連）

## JRCグループ共同で 『第1回ワイヤレスM2M展』に出展

東京ビッグサイトで開催された『第1回ワイヤレスM2M展』(5/9～11)に、各種無線モジュール等を利用した無線ソリューションをJRCグループ(日本無線、長野日本無線、上田日本無線、新日本無線)共同で出展

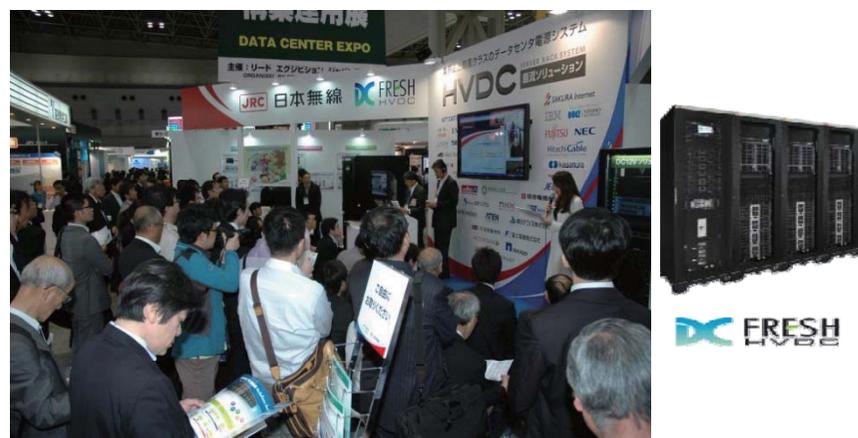
環境・エネルギー、医療・介護、鉄道・プラント、ロボット・その他産業分野へ「スマート化を実現する無線ソリューション」として提案



## 『第4回データセンター構築運用展』 に高電圧直流給電システム「FRESH HVDC」を出展

東京ビッグサイトで左記のM2M展と同時開催された『第4回データセンター構築運用展』に、データセンター向け高電圧直流給電システム「FRESH HVDC」および「DC SERVER RACK SYSTEM」をNTTデータ先端技術株式会社殿と共同で出展

「FRESH HVDC」および「DC SERVER RACK SYSTEM」を実稼働状態で紹介  
サーバメーカー各社の協賛によりDCサーバも展示



# 5.(2) トピックス - 新宿防災訓練 -

## 2012.2.3新宿防災訓練へ エリア・ワンセグ放送システムを提供

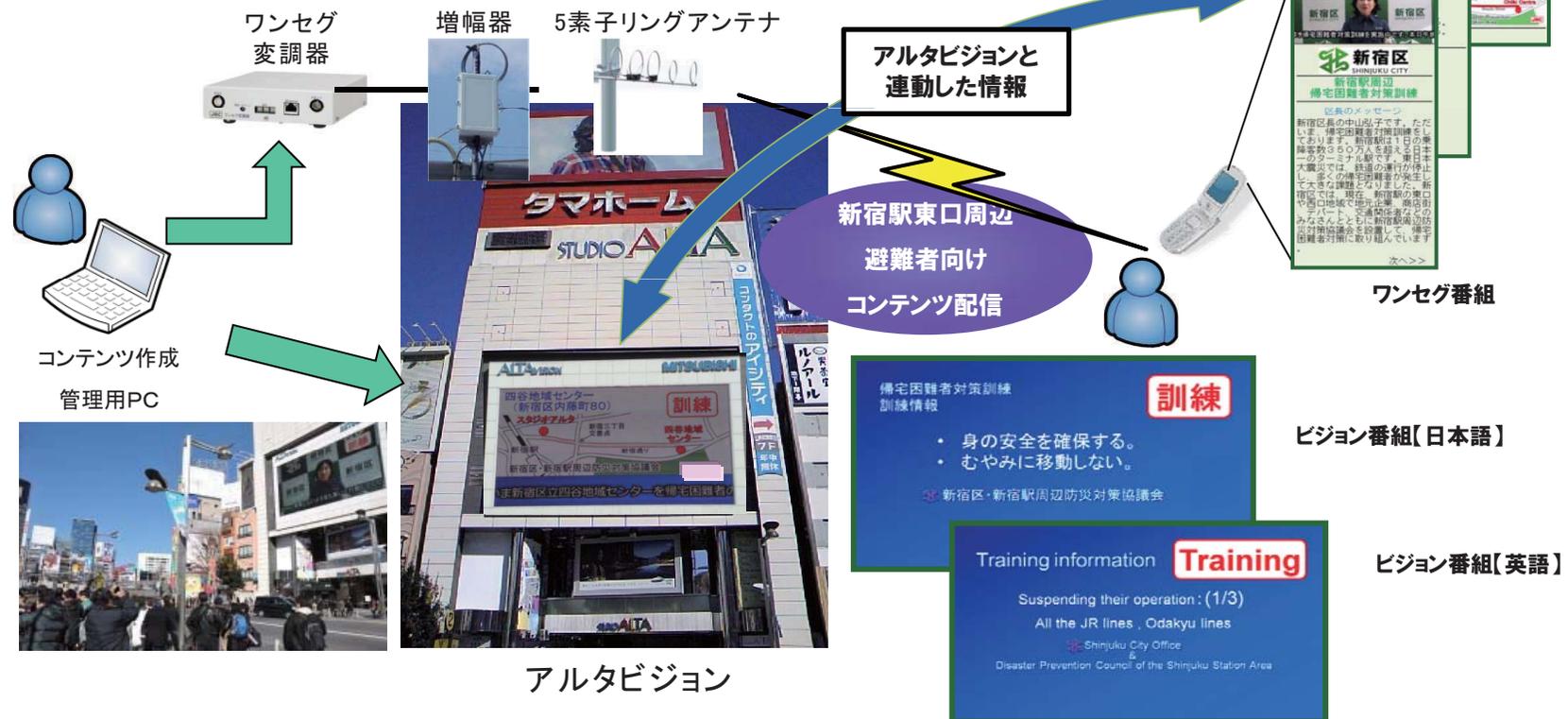
実験名 : 東京都新宿区防災訓練エリア限定ワンセグ放送による情報提供

実験期間 : 2012年2月3日(金)10:00~12:00

実験場所 : 「新宿駅東口駅前広場」

実施主体 : 新宿駅周辺防災対策協議会

帰宅困難者への情報提供ツールとして高評価を得ました





日本無線

**\* 注意事項 \***

- 本資料に記載されている、日本無線の計画・戦略・業績見通し等は、現時点における事業環境に基づく把握可能な情報から判断したものであります。
- 従いまして、今後の事業環境の変化により、実際の業績が業績見通しとは大きく異なる場合があることをご承知おき願います。